



進め！宮浦っ子



令和6年度
屋久島町立宮浦小学校
令和7年2月28日

1971年から1974年を第2次ベビーブームと呼び、この時期に生まれた世代を「団塊ジュニア」と呼ぶそうですが、私はまさにこの世代に当たります。これ以前から鹿児島県内では各地で宅地造成がなされ、多くの団地ができました。特に鹿児島市内では多くの団地ができたことで、各地から家族が移り住み、そのため小学校における子供の数が2千人近くになったところもあり、学校の分離化が進んでいきました。私が小学校1・2年生を過ごしたのはまさにそのようにしてできた小学校でした。その小学校の最初の入学生となったものの、校舎はまだ完成しておらず建築中。大型の重機やトラックが出入りし、子供たちはその後校庭となる場所に建てられた鉄鋼系プレハブ校舎にて過ごしていました。当時のこと、空調などはもちろんついていないわけもなく、カンカンに照り付ける太陽により屋根や壁が熱せられ、教室内は高温。そのため重機により砂埃が舞い上がっているにもかかわらず、窓を全開に過ごしていたため教科書もノートも砂でざらざらでした。2学期も半ばになったころ校舎が完成し落成式が行われ、ようやく通常の学校生活を送ることができるようになりました。新しい校舎がうれしくて、休み時間にはいろいろな教室をまわりました。校長室のソファで飛び跳ね

て遊んだ記憶もあります。宮浦小学校にも同じように遊びに来る子供がいるので、きっと校長室のソファには子供を引き付ける何かしらの魅力があるのでしょうね。私の場合は、いろいろといたずらをして校長室に呼び出されてしかられたこともあり、その後も遊びに行ったのかどうか記憶が曖昧です。その後、小学校3年生に進級する段階で父親の仕事の関係で転校。結局、小学校3校、中学校2校で義務教育時代を過ごしました。久しぶりに当時の小学校のHPを見てみると、校舎に「創立47周年」と掲げられています。令和7年現在ですから、小学校1年生時の年齢を足すとちょうど私の年齢になります。「なるほど、それだけ時間が過ぎたのだなあ」と感慨深く思うと同時に、有限である自分の命をこれからどのように活かしていけばいいかなと将来へ思いを馳せることでした。

宮浦小学校は、明治期の日本が世界に負けない国づくりを進めていくうえで国民の教育を重視し、全国に学校をつくるため進めた「学制」によりできた日本の義務教育の草分け的存在である学校のひとつです。しかし「上屋久町郷土誌」を読んでもみると、学校運営については国主導で進められてきたというよりも、地元の方々の努力により発展してきた学校と言えます。令和7年度より、本校は学校運営協議会制度（コミュニケーション・スクール）を導入します。この制度は、保護者・地域の方々から代表を選出し、学校運営について意見を述べていただくとともに、それぞれの立場で行っていくことをそれぞれが主体的に行っていく、子供たちのよりよい成長へつなげようとするものです。様々な方々とのかわりの中で過ごしてきたこの1年間、宮浦小学校はすでに学校運営協議会制度の体制づくりができていますと私は感じています。150周年を迎え新たなスタートを切った宮浦小学校は、この制度を活かし、より創造的な取組ができるのではないかとワクワクしています。



MIYAURA primary school

屋久島の特産品「たんかん」の授業のひとつ。寒暖差のある気候が育む濃厚な甘さが魅力のたんかん！思わず顔がほころびます。この後故郷の味をしっかりと味わいました！



MIYAURA primary school



寒さに負けず、かざぐるまを手に駆け回る子どもたち！「見て、見て！」と嬉しそうに回る様子は、まさに元気いっぱいの風の子そのもの。走れば走るほど回るかざぐるまのように、子どもたちの笑顔も広がります！



前日の温かさから一転、真冬に逆戻りした朝ですが、子どもたちは元気いっぱい！全校体育では「8の字跳び」にチャレンジし、引っ掛かっても転んでも「ドンマイ！大丈夫だよ」と声をかけ合う姿が素晴らしいです。



「お茶の淹れ方教室」！きゅうすでお茶を淹れるのは初めての子も多く、興味津々。お茶の量は1人2~3グラム、70度のお湯でじっくり1~2分待ちます。静かに待つと…おおっ！いい香り！日本茶インストラクター協会の皆様のご指導のもと、自分なりに挑戦。最後は「茶いっぺタイム」！慌てず急がず、心に余裕を持って3学期も過ごしたいですね！

MIYAURA primary school

屋久島経済新聞
リンク承諾者↑↑
クリックいただければ、記事がお読みになれます

ESD持続可能な開発のための教育ウィークでは、永田小学校さん神山小学校さんとのコラボレーションが行われ、リモートで学びを共有し、発表が行われました。今後更に未来に向けたアクションや、地域社会への貢献を考えていきます。



宮之浦の伝統芸能「おた踊り」を体験！毎年8月13日に初盆の供養として踊られる伝統芸能です。今回は「扇子踊り」と「四ツ竹踊り」に挑戦！151年目の宮浦小にも幸せが訪れますように！



校長が令和7年度の創立150周年を祝う記念事業について、分かりやすく説明しました。その中で、「今回の記念事業は一つの節目。そして、これからも学びと成長の場として、宮浦小学校児童と地域が成長していくための大切な一歩なのだ」と話しました。

3月		
5	水	第3回学校保健委員会
6	木	クラブ活動(反省)
11	火	卒業式合同練習, PTA運営委員会
14	金	卒業式式場準備(4・5年生)⑤⑥
24	月	第78回卒業式
25	火	修了式・離任式
26	水	PTA送別会